

おおがき 工業都市の歩み～

大正～昭和 紡績工場の誘致

インフラが整備されると、市や市議会、大垣商工会議所などが連携を図って工場誘致に取り組み、大規模工場の誘致に成功し、工業都市への転換が始まりました。

工場都市への転換

- 大正3年 後藤毛織大垣工場操業開始
- 大正4年 摂津紡績大垣工場操業開始（現在のユニチカ㈱）
- 大正8年 大垣毛織会社設立
- 大正11年 中央毛糸紡績㈱大垣工場操業開始（現在の㈱トーア紡コーポレーション）
- 昭和2年 日本合成化学研究所設立（現在の日本合成化学工業㈱）



東亜紡績㈱大垣工場（現在の㈱トーア紡コーポレーション） 提供：大垣商工会議所

多くの先人の努力のおかげで今の
大垣があるんだね！



ご利用ください 支援制度

市は、製造業、運輸業、情報通信業、研究開発事業者が、市内に工場などを新設・増設・移転した場合などに支援する「企業立地奨励制度」（下表参照）を設けています。そのほか、ソフトピアジャパンへの入居支援を行う「コールセンター等立地促進事業補助金」や、企業などの販路開拓・拡大、人材育成に対して助成などの支援を行っています。

各種制度などについて詳しくは、産業振興室へ。

平成27年4月から新たに制度を新設・拡充！

- 新設** 市内の製造業を対象に「設備投資奨励金」を新設
- 拡充** 「雇用促進奨励金」の対象期間を、操業開始前1年から操業開始前後1年の2年間に拡充

要件	工場・事業所を新設・増設・移設			既存の工場・事業所に設備設置
	製造業・運輸業	製造業・運輸業 (中小企業)	情報通信業 研究開発事業	製造業
初期投下固定資産額 1億円以上 新規常用雇用者 10人以上	初期投下固定資産額 5,000万円以上 新規常用雇用者 1人以上		初期投下固定資産額 2,000万円以上	
工場等設置奨励金	初期投下固定資産にかかる 固定資産税相当額5年分			—
雇用促進奨励金	新規地元雇用者1人につき50万円 【限度額：5,000万円・1年限り】			—
設備投資奨励金	—			新規設置固定資産にかかる 評価額の100分の10 【限度額：200万円・1年限り】

未来の担い手を育成

次世代を担う人材を育成するため、工場現場に行って、ものづくりを体験する「ものづくり名工塾」=写真=や、金型について学ぶ「金型人材育成講座」などを開催しています。



地元での就労を促進

市内企業の人材の確保支援のため、大学や高校などを卒業予定の人や求職者などを対象に、「リアル大垣合同企業展」=写真=や「大垣地域合同産業展」の開催を支援しています。



現在 IT分野の躍進

ソフトピアジャパンは、昭和62年、日本のシリコンバレーを目指し、岐阜県が主体となって整備された情報産業集積地です。

平成8年には、ソフトピアジャパンセンタービルのオープンをはじめ、拠点となる4つのビルが完成され、現在では、就業者数2,108人、151社が在籍しています。（平成26年4月1日現在）

近年は、スマートフォン用アプリケーションの開発に取り組む企業も集まっており、多くのアプリケーションが発表されています。

また、昨年4月には、情報科学芸術大学院大学（IAMAS）がエリア内に移転し、さらなる躍進が期待されます。

さらなる発展を目指して

市はこれまで、インフラの整備や大規模な企業誘致など、ふるさとの利点を生かしながらさまざまな施策を通して産業の発展に努めてきました。

平成25年に整備が完了した横曽根工業団地では、既に企業による操業が開始されています。また、ソフトピアジャパンに隣接する加賀野地内には、中部地域最大級のデータセンターの建設も始まっています。

市は今後も、時代の変化に対応しながら、特性を生かした企業支援策を、経済団体、各種関係団体などと連携、協働して推進していきます。



横曽根工業団地